

第54回 全国保育問題研究集会

石川集会

集会テーマ

みんなで語ろう 子どものしあわせ おとなのねがい
みんなでつなげよう 平和といのちと自然
～手わたそう だれもが安心して自分らしく生きる喜びを～

サブテーマ

- ◇日本国憲法を守り、いのち・暮らし・権利がひとしく保障される平和な社会、子どもひとりひとりの健やかな育ちを実現しよう。
- ◇児童福祉法の理念から「子ども・子育て支援新制度」の課題を明らかにし、子どもの育ちにふさわしい保育の場をつくろう。
- ◇全国保育問題研究集会の歴史に学び、保育実践を深め保育の質を高めよう。
- ◇保護者・保育者・地域のひとたちの思いをつなげて、子どももおとなも安心して育ち合える保育の場を創造しよう。

日程 2015年**5月29日**（金）・**30日**（土）・**31日**（日）

場所 1日目（開会集会・記念講演）

本多の森ホール

石川県金沢市石引4-17-1

2・3日目（分科会・閉会集会）

金沢大学角間キャンパス

金沢市角間町

主催 全国保育問題研究協議会 第54回全国保育問題研究集会石川集会実行委員会

後援 石川県 金沢市こども福祉課 金沢市教育委員会

石川県社会福祉協議会保育部会保育士会

北國新聞社 北陸中日新聞 石川テレビ放送 北陸放送

第54回全国保育問題研究集会歓迎のことば

全国の保育関係者の皆さん。第54回の集会にご参加下さい。2015年5月29日(金)、30日(土)、31日(日)に開催されます。29日(金)の開会集会は「本多の森ホール」で開かれます。金沢城や日本三名園の一つである兼六園に隣接する会場です。30日(土)、31日(日)は、閑静な山あいにある金沢大学に場所を変え分科会及び閉会集会をもちます。集会が開催される頃は、子ども・子育て支援法に基づいて「子ども・子育て支援新制度」が発足して間もない時期です。内閣府の広報ではこの制度によって、「子育てしやすい働きやすい社会」「子育て支援の拡充や質の向上」などの実現をめざすとされていました。はたしてそのような保育が実際に展開されているのでしょうか。私たち保間研は誕生以来、実際の保育「問題」をとりあげ研究者と実践者が対等の立場で実践研究を進めてきました。本集会においても各地での保育実践を持ちより大いに議論することで課題や展望を明らかにしていきたいと思います。

集会を実行する石川保間研は会員数の少ない小さな保間研です。すでに退職した会員や近隣の保間研の援助を受けながら準備に努めています。小さな保間研でもここまでできるのかという集会にしていきたいと思います。是非ご参加下さい。熱烈歓迎いたします。3月14日には北陸新幹線長野・金沢間が開業します。「そうだ、金沢、行こう！」の人が一人でも増えることを願っています。みなさんのお越しをお待ちしています。

第54回石川集会実行委員長 諸岡康哉

日程

29日(金) 本多の森ホール

12:00	13:00	14:30	14:45	16:15	16:30	17:10	18:00
受付	開会集会・基調提案	休憩	記念講演	休憩	歓迎行事	分科会打ち合わせ	

30日(土) 金沢大学角間キャンパス

8:30	9:15	12:00	13:00	16:30	17:00	18:30
受付	分科会	昼食	分科会	移動	特別講座	

31日(日) 金沢大学角間キャンパス

9:15	11:15	11:45	12:45
分科会	移動	閉会集会	

開会集会 13:00~17:10

5月29日(金) 本多の森ホール

- ☆ オープニング・・・・・・・・・・保育者による歌
- ☆ 歓迎あいさつ・・・・・・・・・・実行委員長 諸岡 康哉
- ☆ 主催者あいさつ・・・・・・・・・・全国保育問題研究協議会代表 西川 由紀子
- ☆ 基調提案・・・・・・・・・・全国保育問題研究協議会 基調提案作成委員会

記念講演 14:45~16:15 ^{しん}辛 ^{すこ}淑玉・・・人材育成会社(株)香科舎を設立。96年辛淑玉人材育成技術研究所を開設。

「世間」を気にするその先に、戦争があります。

子どもの未来より、私達の今、が問われています。

私達は、子どもにどんな未来を残したでしょうか。残そうとしているでしょうか。

時代のうねりの中で、自分の立ち位置と子どもの立ち位置を考えましょう。

歓迎行事 16:30~17:00

^{ごしんしょうだいこ}御陣乗太鼓

御陣乗太鼓は、現在の珠洲市三崎町に上陸した上杉謙信を、自分たちの土地や暮らしを守ろうと、農民漁民が太鼓を打ち鳴らし、戦わずして退散させたことが由来となります。

閉会集会 11:45~12:45

5月31日(日)

金沢大学角間キャンパス

- ☆ 現地実行委員会による歌・・・・・・・・「広場とぼくらと青空と」「世界がひとつになるまで」
- ☆ 閉会の挨拶・・・・・・・・・・石川集会実行委員会
- ☆ 被災地からの報告・・・・・・・・・・さくら保育園(福島)
- ☆ 次回開催地・・・・・・・・・・東京からのアピール

分科会案内

5/30日(土) 9:15~16:30

5/31日(日) 9:15~11:15

分科会の検討資料は、季刊「保育問題研究272号」(新読書社)に記載されているものを使用しますので、必ず持参して下さい。当日も販売しますが、数に限りがあります。事前購入をご希望の場合は、各地の保問研または新読書社までお問い合わせ下さい。(新読書社 FAX:03-3814-3097 メールアドレス:info@shindokusho.jp)

1 乳児保育

「乳児保育」分科会は長い歴史があり、その時代の必要性に応じて乳児保育のより良いあり方を考えてきました。年齢別クラス担当基準をはじめ、乳児の生活と発達を豊かに保障する保育内容・方法、環境構成などを具体的な実践を通して検討していきます。

今年度から実施される子ども・子育て支援新制度は、多くの幼児教育・保育関係者の反対にもかかわらず、その主張や本質を変えることなく、保育の市場化をさらに推し進めようとしています。制度のあり方も含めた、幅広い実り豊かな討論を共にしていきましょう。

運営委員 菱谷信子(福岡) 横井美保子(東京) 亀谷和史(愛知) 松田千都(京都) 野村朋(大阪)
伊藤洋子(愛知) 中川伸子(広島) 西林正美(兵庫) 遠田えり(北埼玉) 柴野邦子(北海道)

2 集団づくり

いま、人権と民主主義が問われています。子どもたちを民主的な主権者として人間らしく育てていくために、発達年齢にふさわしく豊かな集団生活を保障していきたいと思います。自治的、民主的集団をめざし、子どもたちの現実や集団の現状をふまえて、実践の道筋と手だてをどう考えたらよいのか、地域や家庭をも視野に含めた実践をどうつくりだすのか、また、保育者集団のあり方など、実践をもとに深めていきましょう。

運営委員 大元千種(佐賀) 木村和子(愛知) 池田かよ子(東京) 山田栄子(大阪) 脇信明(大分)
中島常安(北海道) 山本理絵(愛知) 長瀬美子(大阪) 古庄範子(熊本) 谷口敦子(京都)
丹野広子(仙台) 光本弥生(広島)

3 あそび

保育界では、あそびの重要性が再び主張されています。そして、あそびの実践も活発に報告されています。あらためて子どもは、あそびのなかでどのような自分を育てていくのか、仲間とどのように育ちあうのか、そのために保育者はどのようにあそびを組織し、発展させていったらよいのかこうした検討がいま私たちに求められています。それはあそびの内容によっても、年齢によっても異なります。栽培や飼育活動を含めた各地の実践をもとに「地域の自分の園のこどもだったら」と思いを描きながら検討しましょう。

運営委員 田中浩司(東京) 木都老克彦(神奈川) 岡村由紀子(静岡) 河崎道夫(三重) 勅使千鶴(愛知)
川内良子(福岡) 宮城千鶴(大阪) 三浦和恵(仙台) 加用文男(京都)

4-a 身体づくり 運動

「身体づくり」は単に体を鍛えることではありません。「身体」とは「中身(心)を含んだ身体」であり、「身体づくり」とは、人格のありようを含めてのからだの形成をしていくことです。この分科会は、運動を通じて、どのような身体を、どのように育てていくのかを、子どもの最善の利益という視点に立って明らかにしていくことです。今なぜ、その運動なのか、その教材を通してどのような認識や感情、価値観を育てるのかなど、乳幼児期の発達に即して丁寧に考えていきましょう。

運営委員 塩田桃子(大阪) 横井喜彦(愛知) 上月智晴(京都) 佐々木雄大(東京) 福井英二(福岡)
山口千恵子(兵庫) 永井三千代(北埼玉)

4-b 身体づくり 食

「食」は生命を守り維持し、成長を保障する基本です。健康な身体は発達の基礎です。昨年の集会に引き続いて学童期まで見通した「食」を考えましょう。

また父母や子どもたちの現状を支える新たな視点で実践を語り合しましょう。各地の給食センター化・委託化についても交流し、健康な子どもを育てるために何が必要なのかを共に考え合ひましょう。

運営委員 大下二三子(滋賀) 小西律子(兵庫) 長谷部幸子(北海道) 三上かおる(大阪)
王野宮子(京都) 加藤雅美(愛知)

5-a 認識と表現 文学

これまで提案され、話し合ってきた実践は多岐にわたっています。絵本の読み聞かせ・お話作り・劇あそび・劇づくり・紙芝居などの活動、教材としての絵本の分析、父母・地域とかわる園文庫のとりくみ、今日の子どもの文化を考えるなど、多様な実践に迫る共通の視点として表現活動をくぐって認識を深め、子どもたちの生活をつくること、子どもたちの集団づくりとかかわらせて文学の実践を深めることが認識されています。

運営委員 西川由紀子(京都) 田代康子(東京) 山崎由紀子(大阪) 徳永満理(兵庫) 小川絢子(愛知)

5-b 認識と表現 美術

子どもの絵のとらえ方や見方、指導のあり方について古くから保問研の中にも多様な考え方や実践があります。毎年の分科会では、こうした積み重ねを丁寧に認識しあうと同時に、様々な実践の違いも、結論を急がずじっくり実践の事実を丁寧に話し合う中で相互理解を深めていけたらと思います。そこから見えてくるものを大切にしたいと思っています。

運営委員 伊藤正雄(東京) 田中義和(愛知) 脇志津子(京都) 板井理(大阪) 平沼博将(京都)

5 - c

認識と表現
音楽

「音楽」は、子どもの育ち、人間形成にどんな役割を果たすのか、「音楽」が人間らしく、子どもたちの自由で伸びやかに楽しく、生きる力になるためには、乳幼児期の音楽教育はどうあったらよいのだろうか。音楽教育では認識とは何であるのか。子どもの発達を保障する・促す教材を、発達段階にそってどう選択していけばよいかなどを考えていきたいと思います。

運営委員

山並道枝(熊本) 藤波陽子(栃木) 安藤正彦(京都) 坂手佳子(大阪) 高橋陽子(北埼玉)

5 - d

認識と表現
科学

子どもたち一人ひとりが良識ある科学者としての目を持った市民として将来的に育っていくためにはどうしたらよいか。乳幼児にふさわしい科学的なものの見方・考え方とはいったいどのようなものなのか。それを幼い子どもの中に豊かに育てていくためには保育者として何を大切に、どのような実践を展開していけばよいのか。3・11の原発事故以来、より重要視されるようになったこれらの問題について、実践をもとに考え、議論を深め合ひましょう。

運営委員

清原みさ子(愛知) 富田昌平(三重) 藤井修(京都)

6

保育計画

保育計画作成は、保育全般にかかわり、なおかつ基底となる作業といえるでしょう。保育実践の根底にある子ども像、保育目標を目の前の子どもたちの姿と家庭・地域の状況をふまえて検討し、職員間・保護者も含めて合意形成する必要があります。

「保育所保育指針」告示化され3年経過し、長年保育計画について議論を積み上げてきたこの分科会で、計画作成だけでなく活用の仕方、職員集団づくり、保育記録、自己評価、保育要録など幅広い議論をしていきましょう。

運営委員

渡邊保博(京都) 林若子(南埼玉) 合田史宣(愛媛) 早瀬眞喜子(大阪) 吾孫子幹(鹿児島)
入江慶太(岡山)

7

保育時間と
保育内容

子育てを始めた父母の労働や生活の大変さと多様さのなかで、保育時間は長くなり、日曜日や祝日も保育を実施する園が増えてきています。本分科会では、父母のそうした労働実態、生活実態と、そこで一緒に暮らし、育つ子どもを考えたうえで、努力したこと、工夫したこと、悩んだことなどを出し合って学んでほしい。それは、保育園とは何か、という話し合いでもありました。

そのような状況を見つめながら、どのような日課や保育内容を作っていくとよいか、子どもとはもちろん、父母とどのようにわかり合っていくとよいか、保育者の労働条件をどうしていくとよいかなど、たくさんある課題をみんなで考えたいと思います。

運営委員

清水民子(京都) 清水玲子(東京) 河本ふじ江(愛知) 横井洋子(北海道)

8

保育政策と
保育運動

政府が進めようとしている、子ども・子育て新システムでは直接契約や直接補助方式が導入され、保育時間がバラバラにされるなど、子ども達の発達保障をないがしろにした保育・子育て環境となり、ビジネスとしての保育の市場化が進むことになると危惧されています。

また、多くの自治体では公立保育所の民営化が安上がり行政施策の目的で進められていますが、民営化反対の取り組みは公的保育制度を守るたたかいとして、国や自治体に対する保育政策や子育て支援政策づくりを求める運動としても重要になってきています。規制緩和や自治体レベルでの最低基準の見直しが進められる中、各地域の状況や取り組みを交流し、私たちが今後どのような保育・子育て制度や環境を政策として掲げていくのか、一緒に考え、議論していきたいと思います。

運営委員

近藤進(京都) 中村強士(愛知) 大宮勇雄(東京) 杉山隆一(大阪) 森山幸朗(島根)
景山一正(岡山)

9

障害児保育

障がいを持った子どもなど、保育において特別な支援を必要とする子どもたちへの関心が高まっています。支援が必要な子どもへの保育に取組むことは、クラスの子ども全体の保育を見直し、職員集団や保護者との協力連携関係を構築していくことにつながります。それは、どの子どもも発達し保育に参加することを保障するインクルーシブな保育を実現することであり、保育の原点を再発見することです。これまでの障害児保育の優れた実践をもとに蓄積された理論を土台にしながら、この時代に必要な実践を創造していきましょう。

運営委員

田中良三(愛知) 野本千明(滋賀) 浜谷直人(東京) 河合隆平(石川) 落合操(愛媛)
杉山弘子(仙台) 上地玲子(岡山) 田中洋(大分) 三山岳(京都)

10

父母と共に
つくる
保育内容

人間らしく生きる力を生活の場での保育は、昨今の状況から見ても「父母と共に」を抜きに語れません。毎回、父母・保育者それぞれの立場から、お互いに手をたづさえての思いから出発した様々な実践が報告されています。

父母と保育者との信頼関係をつくる・父母たちの保育参加を広げる・地域に根ざした共同の子育てを進める・父母と保育者が協力して新しい保育を創造するなどが討議されます。

運営委員

穴戸健夫(愛知) 細見玲美(京都) 成富清美(福岡) 長瀬弥生(大阪) 小林和子(東京)

11

乳幼児期の
平和教育

平和的人間の形成は現代の教育の原点であり、人類的課題といえるものです。乳幼児期から子どもの心の中に平和のとおりでを築く平和教育の営みは、平和な将来の社会を保障する重要な条件であり、最も確実な道といえます。平和とは、単に戦争が無い状態だけでなく、戦争を生み出す元となる飢餓、貧困、差別、失業、虐待などの無い、人権が守られている状態を指すものです。保育現場で、生きづらさを抱えている子どもたち、親たちに向き合い日々取り組んでいる、そのことが平和教育につながるものです。愛されているという安心感や自己肯定感を育てることも仲間と話し合う力を培うことも平和の心を育む実践といえます。平和教育は決して「敷居が高い」ものではありません。日常の保育をあらためて平和教育の視点でとらえ直していただくことから始めていきましょう。

運営委員

千葉朝子(静岡) 石川秀子(広島) 黒川久美(鹿児島) 船越美穂(福岡) 浅野恵美子(沖縄)

12

地域に
開かれた
保育活動

保育園・幼稚園の保育が親に信頼され、子どもたちがしっかり育っていることを土台に、地域の子どもたちもしっかり育ってほしいと願い、地域開放、体験保育など色々な子育て支援の取組が広がっています。しかし、気になる親子への対応が大きな課題になっています。

親子の背景にある生活の重さや、親の未熟さなど保育園だけで抱えきれない問題も増えています。行政や専門機関との連携、民生児童委員など地域の住民組織との連携を日頃から視野に入れた取組が必要です。事例をもとに交流を深め、子育て支援をする今日的な意義を共に考えましょう。

運営委員

水野恵子(東京) 加藤哲雄(愛知) 野々上昭弘(大阪) 望月彰(愛知) 松浦崇(静岡)
木戸啓子(岡山)

特 別 講 座

5月30日(土)
17:00~18:30

A 保育情勢シンポジウム

～導入2ヵ月後の新制度を検証する～

新制度が4月からスタートします。入所は？待機児童は？公定価格？・・・「子育てしやすい国」になるのかどうかを検証します。

報告：静岡より、大阪より

コーディネーター：杉山隆一（大阪保問研・保育政策検討委員）

B 平和のメッセンジャー

～はだしのゲン 世界を行く～

生まれ来て40年、いつしか20数言語を話すマルチリンガルの少年に成長したゲンの今後の更なる活躍が期待されます。

講師：浅妻南海江（NPO法人「はだしのゲン」をひろめる会理事長）

C 震災シンポジウム

～阪神淡路大震災に学ぶ

災害時における保育所の役割～

突然、私達を襲った阪神淡路大震災から20年が経ちます。阪神淡路大震災の被害から教訓を導き出し、幼い命を守る保育所と保育士の役割について共に、考えたいと思います。

報告：増田百代（兵庫保問研）

コメンテーター：大橋巳津子（石巻なかよし保育園 園長）

小林和子（東京保問研）

D 保育

新制度に負けない 私たちの保育づくり

～「その人理解」の専門職員集団として～

保育のカタチが大きく変わろうとしている2015年。制度が変わっても、私たちが守りたいものは変わりません。子どもを語り、福祉を語り、職員集団を語って「保育ってさ」を確認し合ひましょう。

講師：平松知子（けやきの木保育園 園長）

E あそび

～ひとり喜んでいてもしょうがないさ

ふたりで共働き合って喜んでなんぼさ！～

あそび心、あそびのおもしろさのおいかけごっこ、おすそ分けします。（定員150名）

あそび心必殺仕掛け人 ダンプえんちよう

講師：高田敏幸（仙台保問研）

F みんなのしゃべり場

～みんなの悩み、思いを語り合おう～

もはや恒例！分科会とは違った雰囲気の中かで、保育の魅力や楽しさを語り合ひましょう。

コーディネーター：遊び分科会運営委員 田中浩司

（東京保問研）

G ワークショップ

～つくってあそぼう 不思議おもちゃ箱～

子どもたちが楽しく遊べるちょっと不思議なおもちゃをみんなでつくりましょう。身近な材料を使って簡単に出来るものをたくさん紹介します。（定員50名）

講師：伊藤正雄（東京保問研 美術分科会運営委員）

H 紙芝居

～紙芝居は楽しい！～

紙芝居は日本にしかないおはなしのスタイル。芝居です。「演じる」ことで伝わり方が全く違ってきます。「演じ方」を伝授します。

講師：野間成之（のまひょうしぎの会代表）

I 自然

～自然と豊かに関わる中で

センスオブワンダーを育む～

四季折々の豊かな自然に触れ、働きかける活動が育む感性、好奇心、身体性の大切さを、実践例を通して学び合ひましょう。

講師：金森俊朗（北陸学院大学教授）

J 暮らし

～里山・里海を保育に活かす

金沢と能登の事例から～

1. 子どもと自然 2. 里山と里海とは？ 3. 保育に里山・里海を活用する試みについてお話します。

講師：中村浩二（金沢大学里山里海プロジェクト代表）

K 食

～子どもの元気を育む麴～

元気な子どもを育てる事は、活力ある未来を育む事。自分の身体と向き合い、楽しく美味しく健康的な食生活を送る知恵を麴に学びます。（定員100名）

講師：小紺有花（麴研究家）

L 文化

～水引 石川の伝統文芸に触れる～

御祝儀袋の水引き、またはしおりのどちらかを選択し、製作をします。材料費は500円です。

（定員50名）

講師：津田剛八郎（加賀水引・津田）

【宿泊先のご案内】※募集型企画旅行

- 2015年5月29日（金）～30日（土）の2日間をご用意いたしております。前泊、後泊のご希望も受け賜ります。
- 下記料金は、1泊朝食付（サービス料・税込）の料金となります。
- ご希望ホテルは、原則予約申込先着順にて配宿させていただきます。
- 最少催行人員／1名様（添乗員は同行いたしません）

ホテル名	ホテル名 申込記号	お部屋タイプ	宿泊料金	交通・アクセス
ホテル金沢	A-1	シングル	12,000円	J R金沢駅東口より徒歩2分
	A-2	ツイン	11,000円	
金沢都ホテル	B-1	シングル	10,800円	J R金沢駅東口より徒歩2分
	B-2	ツイン	10,000円	
ダイワロイネットホテル金沢	C-1	シングル	10,000円	J R金沢駅東口より徒歩2分
	C-2	ツイン	9,500円	
A P Aホテル金沢駅前	D-1	シングル	10,000円	J R金沢駅西口より徒歩1分
	D-2	ツイン	9,000円	
金沢マンテンホテル	E-1	シングル	8,500円	J R金沢駅西口より徒歩4分
ホテルヴィアイン金沢	F-1	シングル	8,000円	金沢駅直結
ガーデンホテル金沢	G-1	シングル	8,000円	J R金沢駅東口より徒歩2分
キャスルイン金沢	H-1	シングル	8,000円	J R金沢駅東口より徒歩4分
	H-2	ツイン	7,000円	
ホテルルートイン金沢駅前	I-1	シングル	7,000円	J R金沢駅東口より徒歩5分
A N Aホリデイ・イン金沢スカイ	J-1	シングル	10,000円	J R金沢駅東口より徒歩10分 北鉄武蔵ヶ辻バス停より徒歩3分
	J-2	ツイン	9,000円	
ホテルリソルトリニティ金沢	K-1	シングル	10,500円	J R金沢駅東口より徒歩15分 北鉄バス武蔵ヶ辻より徒歩3分
	K-2	ツイン	9,500円	
金沢ニューグランドホテル 本館又はアネックス	L-1	シングル	11,500円	J R金沢駅東口より徒歩20分 北鉄バス南町より徒歩3分
	L-2	ツイン	10,500円	
東横イン金沢兼六園香林坊	M-1	シングル	6,000円	J R金沢駅東口より徒歩25分 北鉄バス香林坊より徒歩3分
	M-2	ツイン	5,500円	

◇上記宿泊プラン以外での館内ご利用分（駐車場、個人的なご利用等）は、チェックアウト時に各自ご精算ください。

◇ツインをご希望される方は、お申込用紙に同室者を分ける様にご記載ください。

◇お車で越えの方は、各施設に駐車場はございますが予約は受付いたしておりません。（先着順となります）

☆ 2015年3月に北陸新幹線が開業となり、金沢市内の宿泊施設は非常に混み合っております。現在確保させていたしておりますお部屋が完売した場合、増室のご対応が出来かねる場合がございます。お早めにお申込ください。

【会場までのアクセス・マップ】



【本多の森ホール】金沢市石引 4-17-1

- ①金沢駅東口ターミナル3番乗り場からバスで約20分(出羽町下車)
- ②タクシーで約15分
- ③香林坊より徒歩で約15分
- ④北陸自動車道金沢西ICまたは金沢東ICより約25分(近隣の有料駐車場をご利用ください)

【金沢大学角間キャンパス】金沢市角間町

- ①金沢駅および香林坊より集会シャトルバスもしくはタクシーで約20分
- ②北陸自動車道森本ICから約10分(キャンパス内駐車場あり)

【 新規 ・ 変更 ・ 追加 ・ 取消 】 ← いずれかに○をご記入ください

第54回全国保育問題研究集会 石川集会 申込書（FAX専用）

FAX：076-223-1289【名鉄観光サービス(株)金沢支店宛】

*一次締切 4月30日（木） *最終締切 5月14日（木）

	フリガナ	所属保問研	参加証・請求書送付先（ 自宅 ・ 職場 ） ○印をご記入
代表者名			〒
職場名			
学校名			
			TEL： FAX：

	フリガナ 参加者氏名	性別	分科 会数記号	特別 講座記号	宿泊第一希望		宿泊 第二 希望	弁当 5/30	シャトル	シャトル	シャトル	シャトル	職場名 学校名	一般 学生	備考
					5/29	5/30			往路 5/30	復路 5/30	往路 5/31	復路 5/31			
例	いしかわ はなこ 石川 花子	女	3	E	A-1	A-1	B-1	○	○	○	○	○	〇〇〇 保育園	一般	No.1 と同 室
1															
2															
3															
4															
5															

【シャトルバスをご利用の方へ 往路の希望されるバス停留所に○をご記入ください。】

◆ 5/30 ・ 金沢駅 ・ 香林坊 ◆ 5/31 ・ 金沢駅 ・ 香林坊

ご記入に際して（一読ください。）※「参加要綱」をご参照の上、ご記入ください

- 1：宿泊希望日欄に、ホテル申込記号をご記入ください。第二希望のホテルもご記入ください。
- 2：ツインルーム希望の場合は、備考欄に同室者氏名をご記入ください。
- 3：5/30 弁当をご希望の方は、弁当欄に○印をご記入下さい。尚、角間キャンパス周辺にはお弁当を購入するところがないので、当日のお申込の対応も出来ませんので、事前にお申込ください。（事前予約制）
- 4：5/30・5/31 シャトルバスをご希望の方は、シャトル欄に○印をご記入ください。事前予約制となります。シャトルバス復路は、5/30 特別講座終了後 5/31 閉会集会終了後に出発させていただきます。
- 5：お支払いは、銀行振込みのみとさせていただきます。尚、振込手数料はお客様負担となります。予めご了承ください。
- 6：変更・追加・取消などは、こちらの申込用紙に上書きしてFAXしてください。

「お支払い方法」

◎一次締切日以降、郵送にて請求書・振込口座・参加証等をお送りいたします。

お申し込み内容を確認後、指定日までにお振込みください

※振込手数料はお客様負担にてお願いいたします。

※同封の参加証・お弁当引換券・宿泊券等は参加当日に必ずお持ちください。

お振込先

ほくくぎんこう むさしがつじしてん
北國銀行 武蔵ヶ辻支店

普通 196714

めいてつかんこうさーびすかぶしがいいしゃ
名鉄観光サービス(株)

かなざわしてん
金沢支店